

レカネマブ Q&A

Q. レカネマブにはどのような効果がありますか？

レカネマブは認知症の進行を完全に止める薬ではありません。レカネマブを18か月間投与すると、認知機能の低下を27%抑制することが示されました。言い換えると、レカネマブを18か月投与することによって、認知機能低下の進行を5.3か月遅らせたということになります。ですから、レカネマブは軽い症状の期間を引き延ばす薬、と考えることができます。

Q. 副作用が心配です。詳しく教えてください。

最も注意が必要な副作用は、脳の微小出血と脳のむくみです。これは脳の血管に溜まっているアミロイドβが除去されるために起こる副作用です。このため、レカネマブによる治療を始める前と治療を開始した後に、繰り返しMRI検査を行う必要があります。

Q. 通院頻度はどのくらいですか？

レカネマブは点滴で投与する薬で、1回の点滴に1時間15分程度の時間がかかります。原則18か月間、2週間に1回の通院が必要です。

Q. ドナネマブという薬もあると聞いたのですが？

レカネマブと似た作用の薬で、月1回の点滴で、12か月で投与を完了できる可能性があります。一方、脳の微小出血や脳のむくみといった副作用の頻度は、レカネマブより高いことが知られています。2024年末に使えるようになる見込みです。



Q. どこに相談したらいいの？

治療については、まずはかかりつけ医、または認知症サポート医、お住まいの区市町村の認知症疾患医療センターにご相談ください。

※お住まいの地域の認知症サポート医、認知症疾患医療センターは、東京都の認知症ポータルサイト「とうきょう認知症ナビ」で確認できます。

「認知症サポート医」

「認知症疾患医療センター」



認知症や、認知症の新しい薬について、さらに詳しい情報をWebサイトに掲載しています！

認知症支援推進センター

検索



スマートフォン用QRコード⇒

<https://dementia-support.jp>

編集・発行

東京都福祉局高齢者施策推進部在宅支援課
東京都新宿区西新宿二丁目8番1号

地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター
東京都板橋区栄町35-2

令和6年10月発行 印刷番号 (6) 79

治療の選択肢が増えます

アルツハイマー型 認知症の 新しい薬 ができました。



東京都

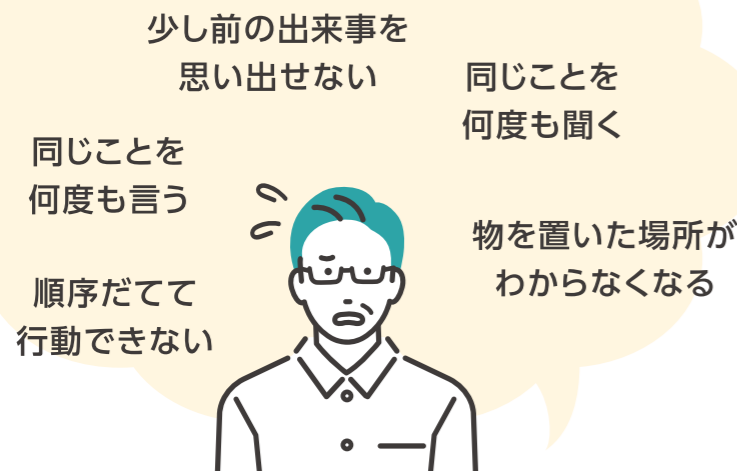
認知症の原因になる病気

認知症の現れ方は、原因になっている病気(認知症疾患)によって異なります。認知症の原因になる病気として、もっとも多いのがアルツハイマー病で、アルツハイマー病が原因になっている認知症をアルツハイマー型認知症と言います。

認知症の原因になる病気があって認知機能障害が生じ、認知機能障害が原因になって生活上の困りごとが生じて、人の助けが必要になった状態を「認知症」と言います。

また、認知機能障害があっても、生活上の困りごとが生じていない状態を「軽度認知障害:MCI」と言います。

アルツハイマー型認知症でみられる認知機能障害



認知症にはやく気づくことには、さまざまなメリットがあります

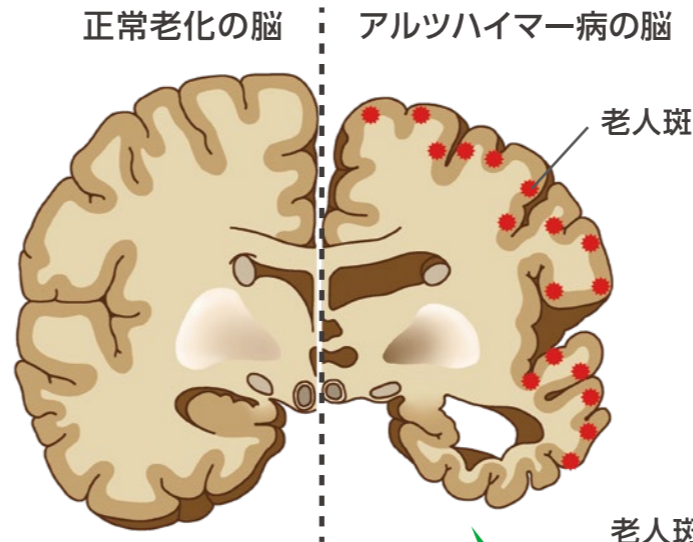


- ・治療を始めることができ、進行をゆるやかにすることができる場合がある
- ・生活の困りごとへの対処法を一緒に考える人に出会える
- ・これから先のことに備えられる
- ・理解して支えてくれる人を増やせる

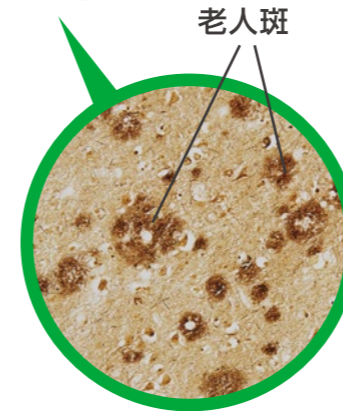
認知症は脳の病気

アルツハイマー病で見られる脳の変化

[脳の比較]



アルツハイマー病の脳を顕微鏡で見ると、「老人斑」が見えます。これが、アルツハイマー病の脳の最大の特徴です。「老人斑」は、アミロイドβ(ベータ)と呼ばれるたんぱく質が固まってできたものです。



アミロイドβは正常な脳でもつくられていて、つくられるスピードと分解されるスピードのバランスが保たれています。

ところがこのバランスが崩れると、アミロイドβの量が過剰になり、神経細胞の外で徐々に大きなかたまりになっていきます。

アミロイドβのかたまりは神経細胞の働きを鈍らせます。やがて神経細胞が死に、神経細胞の数が減ってくると、認知機能障害が現れます。

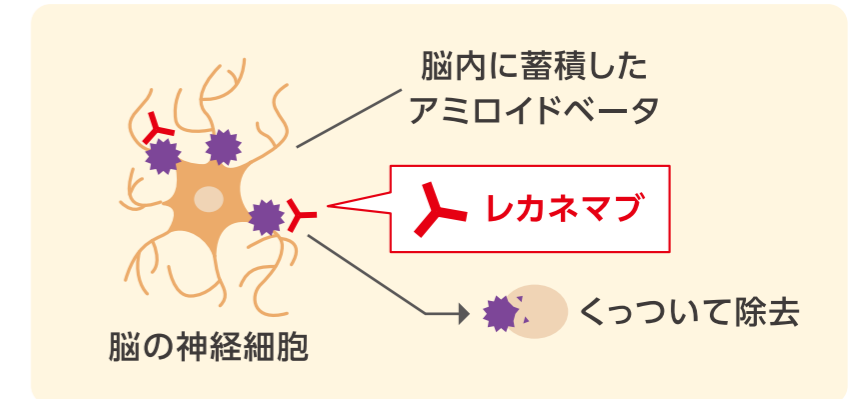


レカネマブってどんな薬?

2023年12月から、アルツハイマー病の新しい薬「レカネマブ」による治療が、日本でも始まりました。

レカネマブの作用

従来の認知症治療薬は、神経細胞の間の伝達を調整することによって、今ある症状を和らげる薬でした。これに対してレカネマブは、アルツハイマー病の原因になっている物質(アミロイドβ)を取り除き、認知機能障害の進行を抑制することが期待されます。



レカネマブによる治療の対象になる方

レカネマブによる治療の対象になるのは、「アルツハイマー病による軽度認知障害」と「軽度アルツハイマー型認知症」と診断された方で、検査等によって、ガイドラインに定められた基準を満たすことが確認された方です。

検査

レカネマブによる治療の対象になるかどうかを判定するために、以下の検査が必要です。

- ①心理検査、②認知症の重症度の判断、③脳MRI検査、④バイオマーカー検査(アミロイドPET検査、または脳脊髄液検査)